



横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンターが 24時間対応へ!

深夜、早朝の時間に発熱などの発症した場合に対応できる窓口がなかったことから、市民が
たらい回しにならないように新型コロナウイルス感染症相談コールセンターの体制強化を求
めてきましたが、12月1日より24時間対応となりました。

新型コロナウイルス感染症 基本的な相談の流れ

症状はないが

- ・濃厚接触者になったかもしれない
- ・PCR検査を受けたい
- などの相談をしたい

症状があり、かかりつけ医が

いない

いる

倦怠感・味覚障害・嗅覚障害等
(発熱・せき・のどの痛み以外の諸症状)
がある

発熱・せき・のどの痛み
いずれかの症状がある

かかりつけ医に連絡

横浜市新型コロナウイルス感染症コールセンター (帰国者・接触者相談センター)に連絡

電話: 045-550-5530
FAX: 045-846-0500

24時間対応 (土日・祝日を含む)

- ・感染症の特徴、予防方法、有症時の対応など、全般的な相談
- ・新型コロナウイルス流行地域からの帰国者や感染症患者との接触歴のある方等の受診調整
- ・症状がある方等に検査を実施している医療機関を紹介
(発熱・せき・のどの痛みいずれかがある場合、
県の発熱等診療予約センターも案内)

神奈川県発熱等診療予約センターに連絡

0570-048914 または 045-285-1015

9:00~21:00

(土日・祝日を含む)

- ・LINEアカウント
「神奈川県新型コロナ対策
パーソナルサポート」からも申込可
(右のQRコードをLINEの友達追加から読み込
んでください)
- ・電話やLINEの予約申込の情報をもとに、
オペレーターが医療機関を予約します



※ 上記に関わらず、(特に夜間・休日)症状が重い、徐々に悪化している場合等
事前連絡の上、救急医療機関へ 緊急の場合→ 119 (救急車を依頼)

詳しくはこちら→
(横浜市のwebページ)



署名に込められた市民の思いを受け止め、住民投票の実現を!

2021年1月

カジノ住民投票の可否を決める臨時会が開会

IRの誘致をめぐる賛否を問う住民投票に向けた署名活動が9月4日から11月4日まで実施されました。住民投票条例案提出に必要な数の3倍以上の19万3193筆※が集まり、これから横浜市会臨時会で住民投票条例案が審議・採決が行われます。

市長「住民投票が行われればその結果に従う」

市民の声を聞くことは、民主主義の基本。我々の会派は、署名の重みを真摯に受け止め、住民投票条例制定案に賛成するよう林文子市長だけでなく、全IR・カジノ推進派議員に対し強く求めます。

2020年6月に行われた神奈川新聞の世論調査では、約67%もの市民が誘致に反対と回答しています。林市長は、住民投票が行われれば

その結果に従うとの考えを示していますが、前回の市長選挙でIR誘致を白紙とした林市長が民意を尊重するのは当然なことです。だからこそ、横浜の未来を大きく左右するIR・カジノ誘致計画については住民投票を実施し、市民の声をしっかりと聞くべきです。私たち立憲民主党・無所属フォーラム横浜市会議員団は、市民の皆さまの声を力にカジノ誘致計画撤回に向けて全力で闘い続けます。

※12月3日現在、横浜市選挙管理委員会発表

これまでの経緯と今後の流れ

2020年9月4日～11月4日

↓ 住民投票条例制定を求める署名活動

11月13日

↓ 署名簿を選挙管理委員会に提出

12月上旬

↓ 各区選挙管理委員会議決 署名数が確定

↓ 署名簿の審査、縦覧、異議申立て

12月中旬

↓ 確定した署名とともに
市長へ**住民投票直接請求**

2021年1月

市長は条例案を横浜市会に付議
臨時会が開かれ審議・採決

可決

2021年3月
住民投票実施

否決

住民投票の実施なし。
カジノを止めるためには
カジノ反対派の新市長を誕生
させカジノ誘致計画撤回へ。

※日程は変更になることがあります



IR・カジノ推進派議員に
市民の声を!!



IR・カジノ住民投票についてのQ&A

Q 住民投票の投票期日は決まっているの?

A 市議会が住民投票条例案を可決すれば、60日以内に住民投票が行われます。

Q 住民投票条例案がカジノ推進派議員に反対されて議会で否決になった場合、カジノ誘致計画が実行されるの?

A 林文子市長とカジノ推進派議員が多数を占める市議会は、山下埠頭へのIR・カジノ誘致計画を多くの市民の反対の声を無視して、国と共に計画を進めようとしています。したがって、2021年8月に予定されている横浜市長選挙でIR・カジノ反対派の新市長を誕生させるしかありません。

Q 住民投票で反対多数になった場合、どうなるの? 法的拘束力はあるの?

A 法的拘束力はありません。しかし、林文子市長は、住民投票が行われればその結果に従うとの考えを示しました。反対多数となれば誘致計画撤回となります。

Q 横浜にカジノができると経済が良くなるの?

A カジノは賭博です。ギャンブル依存症の激増、治安の悪化、風紀の乱れ、教育への影響など、横浜の歴史と文化、価値を変えてしまいます。林文子市長はカジノの経済効果について、800億を超える収入が横浜市に入ると説明しますが、これはカジノ事業者の試算であり、さらにコロナ禍以前の想定に過ぎません。経済が良くなる保障はありません。

かじお あきら
梶尾 明

昭和44年(1969)年3月生まれ
大阪芸術大学写真学科卒
写真家 元国会議員秘書

横浜市会議員(1期)
健康福祉・医療委員会
基地対策特別委員会 所属

編集部

立憲民主党・無所属フォーラム
横浜市会議員団
港南区政務活動事務所
横浜市港南区港南台3-16-1

TEL 045-353-5723
FAX 045-353-5724
Mail mail@kajio.info
http://kajio.info/